

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月20日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '介護認定審査会事務' and '介護保険法'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) 事務事業の概要. Columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '介護保険法に定める認定調査票と主治医意見書' and '介護認定申請者'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table (3) showing input amounts and volume. Columns include 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), and 期間限定総投入量.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 01年度 (実績) and 02年度 (予算). Includes items like 報酬, 需用費, 役務費, 委託料, 備品購入費.

事務事業名	介護認定審査会事務	事務事業No.	10702000042	所属課	介護保険課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 介護保険法の施行（平成12年4月）により、介護認定審査会を設置した。 平成30年介護保険法施行規則の一部改正により①認定有効期間の拡大（更新申請の場合は最長で36か月）②介護認定審査会の簡素化（厚生労働省の要件を満たすものに限る）が可能になった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 審査会の簡素化対象者についても資料を添付してほしいと審査会から要望があり、現在まで実施している。審査結果が適正な期間に出ないケースもあり、家族や事業所・病院から進捗状況や結果の問い合わせ等がある。結果の遅延により事業所からはサービスプランが組みにくいと意見が寄せられている。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 介護保険法の定めるところにより、適正かつ迅速な要介護認定を行うことは、高齢者が適正なサービスを受け自立すること・社会参加の支援に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法の定めるところにより、市に介護認定審査会を設置することが義務付けられており妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 介護保険法に基づき適正に行っているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法定事項であり、休止・廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 委員の報酬のみで削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 法定事項であり、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）																							
(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 高齢者の増加に伴い申請件数も増加している。 1回の審査件数は令和元年度は平均38.2件である。（適正件数は35件程度） 審査結果が出るまでに時間がかかっているため、早めに主治医意見書の依頼をし、遅延している場合は医療機関に進捗状況の確認を行った。介護認定調査終了後速やかに審査会に提出できるようにした。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ③			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	×																			
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項																							

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>